



牧野 まきのの

利枝 としえ



概要

氏名 牧野 利枝

推薦団体 熊本市

主な活動地 熊本市

本賞

牧野利枝氏は、昭和四十二年から半世紀以上にわたり、革工芸の普及発展に努めながら活動を続けている革工芸肥後ローケツ染家です。

氏は、東京都杉並区の彩季会皮革工芸研究所で革工芸製作技法を学ばれ、昭和五十年に熊本へ転居された後、染色技術を学びました。当時、県内には革ろうけつ染の製作者はおらず、氏が、県内の革ろうけつ染の第一人者として、技術を広めてこられました。

肥後六花に魅せられた氏は、従来の革ろうけつ染をより進化させた「肥後革ローケツ染」技法を考案され、多くの作品作りに取り組みられています。そして個人の活動と併せて、後継者育成にも取り組みられ、その技法の継承に努められています。

また、一般社団法人くまもと工芸協会の理事長を務められ、工芸職人のリーダーとして力を発揮されました。

このように、氏は、革工芸肥後ローケツ染の活動を通じて本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和五十二年 アトリエ「創」を開設し、革ろうけつ

染教室を開始

昭和五十六年 第三回 日本新工芸展 入選

昭和五十七年 アトリエの移転を機に、肥後革ロー

ケツ染の後継者育成を開始

昭和六十年 第四十四回 熊日総合美術展

熊日賞（グランプリ）

平成十六年 熊本市工芸産業振興協会理事長

（～平成二十一年）

平成二十一年 一般社団法人くまもと工芸協会

理事長（～平成二十五年）

役職

- ・ 一般社団法人くまもと工芸協会 元理事長
- ・ 一般社団法人くまもと工芸協会 会員